

## 「阿蘇の草原キッズになろう！（野焼き編）」事業報告書

事業推進室長 小宮広明

### 1 事業の概要

(1) 趣 旨 阿蘇郡市内の子供たちに、阿蘇の草原環境の現状を学ばせると共に、草原維持活動（野焼き）を実際に体験させることで、草原環境保全への意識を高めさせる。

また、野焼きに携わる人々との出会いを通して、いろいろな生き方・考え方に気づかせ、地域を愛し、地域をよりよくしようとする心を育成する。

(2) 期 日		阿蘇市立阿蘇小学校	阿蘇市立一の宮小学校	高森町立高森中央小学校
事前学習		平成 29 年 2 月 13 日 (月)	平成 29 年 2 月 22 日 (水)	平成 29 年 1 月 27 日 (金)
野 焼 き		平成 29 年 2 月 27 日 (月)	平成 29 年 2 月 24 日 (金)	平成 29 年 2 月 28 日 (火)

(3) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家（野焼き）、町古閑牧野（野焼き）、各小学校（事前学習）

(4) 参加者 阿蘇市立阿蘇小学校 5 年生 4 2 名

阿蘇市立一の宮小学校 4 年生 7 3 名

高森町立高森中央小学校 4 年生 4 5 名

(5) 講 師 町古閑牧野組合 組合長 市原啓吉 氏

阿蘇グリーンストック 木部直美 氏

野焼きボランティア 2 0 名

(6) 担当職員 小宮広明（事業推進室長） 安部信吾（企画指導専門職）

一鬼隆浩（企画指導専門職） 松元延行（事業推進専門職）

山本正明（事業支援室長） 野尻明美（事業支援室専門職員）

益田 力（事業支援室係員）

(7) 内 容 【事前学習】野焼きについての学習、火消し棒づくり

【野 焼 き】たいまつづくり、野焼き体験

### 2 成果と課題

#### (1) 成 果

○ 「みなさんの『草原を守る！』という気持ちがすごく伝わってきてすごいなあと思いました。

また、草原を守るためにたいへんなことでも面倒くさいことでもやり遂げている姿に心が動かされました。そして、私が大きくなったら、私が阿蘇の草原を守ろうと思います。」「野焼き体験をしたりして、今までの草原に対する思いとは違う思いが出てきました。『草原を大切にしよう』から、『もっと草原のことを知り、どうやって草原を守れるか考えよう』と思えるようになりました。」などの感想が見られ、草原の大切さを学んだだけでなく、草原とともに生きる人々のことを知ることによって自ら草原を守っていききたいという態度を養うことができた。

○ 昨年度より課題になっていた参加者の服装について、今年度は、事前学習において十分な指導を行うとともに、野焼きの服装についてのイラストを参加者に配布し、保護者の協力が得られるようにした。また、どうしても、燃えにくい綿の上着が準備できない参加者用に予備の上着を準備するなど安全管理に努めることができた。

#### (2) 課 題

○ 参加児童の火入れは班ごとに行っている。そのため、火入れの順番が回ってくるまでの時間ができてしまうため、その時間を有効に使えないかを検討する必要がある。

○ 交流の家での野焼きについては、地形的な問題もあり、子供たちの十分な活動ができず、町古閑牧野で野焼きを行う学校との体験の差が見られる。次年度においては、どの学校も同じような野焼き体験ができるよう場所等の検討をする必要がある。

### 3 事業の様子



野焼きの学習の様子



野焼きの学習の様子



火消し棒づくりの様子



火消し棒づくりの様子



たいまつ作りの様子



火入れ体験の様子



火入れ体験の様子



お礼の言葉を述べる児童の様子